【議題（１）】部活動の地域移行について

１　諮問要旨

中学校の部活動は、長年にわたり、生徒がスポーツ・文化に親しむ機会を確保し、自主的・主体的な活動を通じて、責任感・連帯感の涵養や自主性の育成にも寄与してきた。また、人間関係の構築、自己肯定感の向上、問題行動の抑制などにもその意義が込められている。

国においては、生徒数の減少に伴う部活動の持続可能性という面で厳しさを増していること及び実技経験のない教師が指導せざるを得ない実態があることなどから、まずは、休日の部活動から段階的に地域に移行していくことを基本とする方針を打ち出している。目標時期は令和７年度末としており、それまでに地域の実情に応じて地域移行を推進していくこと及び地域におけるスポーツ・文化活動の機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実等にも着実に取り組むことが求められている。

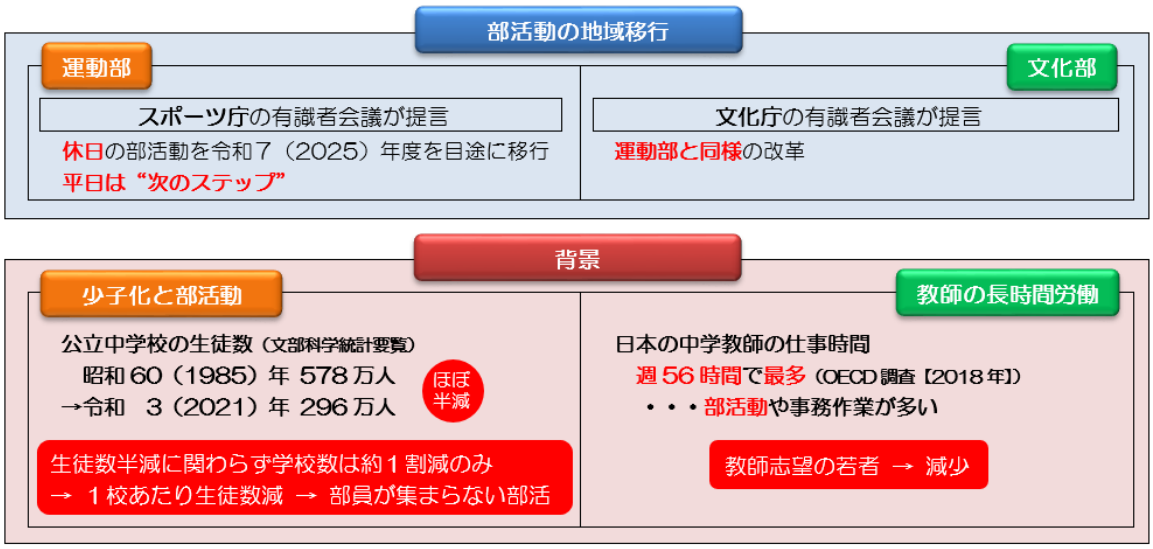
本町では、「豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画（第３期）」において、町民や学校、各種団体、地域などと行政が連携・協働して生涯学習を推進することとされている。

ついては、中学校の部活動の地域移行を中心課題として、本町における生涯学習体系の再編も視野に入れ、生徒の休日におけるスポーツ・文化活動の機会の確保について諮問する。

２　国の動向

中学校の部活動は、令和２（2020）年９月に文部科学省から「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」が策定され、持続可能な部活動と教師の負担軽減の実現に向け、令和５（2023）年度以降、休日の部活動の地域移行を段階的に実施することが示されている。

さらに、スポーツ庁の有識者会議は、少子化の進展や教員の長時間労働の問題などを背景に、令和７（2025）年度末までに公立中学校の休日の部活動指導の地域移行を実現すべきとの提言（Ｐ２参照）をまとめた。吹奏楽部などの文化系についても、文化庁の有識者会議は運動部と同様に地域に委ねていくとの提言をまとめた。



スポーツ庁有識者による「運動部活動の地域移行に関する検討会議」提言案

運動部活動の地域移行に関する検討会議提言の概要

※公立中学校等における運動部活動を対象

スポーツ庁

運動部活動の意義と課題

意義

○生徒のスポーツに親しむ機会を確保。自主的・主体的な参加による活動を通じ、責任感・連帯感を涵養、自主性の育成にも寄与。

○人間関係の構築、自己肯定感の向上、問題行動の抑制。信頼感・一体感の醸成。

課題

○近年、特に**持続可能性という面で厳しさを増しており**、中学校生徒数の減少が加速化するなど**深刻な少子化が進行**。 <生徒数：昭和61年589万人→令和３年296万人に半減、出生数：令和３年84万人>

○**競技経験のない教師が指導**せざるを得なかったり、**休日も含めた運動部活動の指導**が求められたりするなど、**教師にとって大きな業務負担**。<土日の部活動指導：平成18年度1時間６分→平成28年度２時間９分に倍増>

○地域では、**スポーツ団体や指導者等と学校との連携・協働が十分ではない**。

これまでの対応

○運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン（平成30年３月）：学校と地域が協働・融合した形での地域におけるスポーツ環境整備を進める

○学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について（令和２年９月）：令和５年度以降、**休日の部活動の段階的な地域移行**を図る

○中教審や国会等：「部活動を学校単位から**地域単位の取組**とする」旨指摘

目指す姿

○**少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保**。このことは、学校の**働き方改革**を推進し、**学校教育の質も向上**。

○スポーツは、**自発的な参画**を通して**「楽しさ」「喜び」**を感じることに本質。**自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出**。

○**地域の持続可能で多様なスポーツ環境を一体的に整備**し、子供たちの**多様な体験機会を確保**。(スポーツ団体等の組織化、指導者や施設の確保、複数種目等の活動も提供)

改革の方向性

○まずは、**休日の運動部活動から段階的に地域移行**していくことを基本とする

○**目標時期：令和５年度の開始から３年後の令和７年度末を目途**

（合意形成や条件整備等のため更に時間を要する場合にも、地域の実情等に応じ可能な限り早期の実現を目指す）

○**平日の運動部活動の地域移行**は、できるところから取り組むことが考えられ、地域の実情に応じた**休日の地域移行の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進**

○**地域におけるスポーツ機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実等**にも着実に取り組む

○**地域のスポーツ団体等と学校との連携・協働の推進**

※**改革を推進するための「選択肢」を示し、「複数の道筋」**があることや、**「多様な方法」**があることを強く意識

・ガイドラインの改訂
・地方公共団体における推進計画の策定・実施
・公的な支援

課題への対応

新たなスポーツ環境
・地域の実情に応じ、多様なスポーツ団体等が実施主体
・特定種目だけでなく、生徒の状況に適した機会を確保

スポーツ団体等
・先進的に取り組んでいる事例をまとめ提供
・必要な予算の確保やtoto助成を含む多様な財源確保の検討

スポーツ指導者
・指導者資格の取得や研修の実施の促進
・部活動指導員の活用、教師等の兼職兼業、人材バンク
・指導者の確保のための支援方策の検討

スポーツ施設
・学校体育施設活用に係る協議会の設置、ルールの策定
・スポーツ団体等に管理を委託

大会
・大会主催者に対し、地域のスポーツ団体等の参加も認めるよう要請
・地域のスポーツ団体等も参加できる大会に対して支援

会費や保険
・困窮する家庭へのスポーツに係る費用の支援方策の検討
・スポーツ安全保険が、災害共済給付と同程度の補償となるよう要請

学習指導要領等
・部活動の課題や留意事項等について通知、学習指導要領解説の見直し、次期改訂時の見直しに向けた検討
・部活動等から伺える個性や意欲・能力を入試全体を通じ多面的に評価
・教師の採用で部活動指導の能力等を過度に評価していれば、見直す

３　豊山町の動向

中学校の部活動は、国の動向に併せて、休日の部活動について地域に移行することを検討する必要がある。このため、生徒の新たな受け皿の一環として部活動にかわる「総合型地域スポーツ・文化クラブ」などに段階的に移行することとし、そのための環境整備を進めていく必要がある。

また、町内小学校の部活動は、令和３（2021）年度より段階的に縮小し、令和４年（2022）度末をもって完全廃止されることが決定している。

４　部活動の現状

中学校の部活動の現状は次表のとおり。（Ｒ３年度末現在）

①種目：運動系７種目、文化系４種目の計 11 種目を実施

②人数：525 人

	種目計【11 種目】　参加人数計【525 人/540 人中　97%】		
豊山中 1~3年	運動系【７種目】 参加人数計【331 人】		文化系【４種目】 参加人数計【194 人】
	サッカー　【46 人】	野球　【21 人】	吹奏楽　【67 人】
	バスケット（女）【17 人】	ソフトボール　【24 人】	英語　【11 人】
	バレー（男・女）【97 人】	テニス　【33 人】	文学　【30 人】
	卓球（男・女）【93 人】		文化創作　【86 人】

【参考：小学校の部活動の状況（Ｒ３年度末現在）】

	種目計【４種目】	参加人数計【99 人/127 人中　78%】	活動日数
豊山小 5,6 年	運動系【３種目】	サッカー　【27 人】	週２日（平日）
		バスケットボール　【35 人】	
		バトントワリング　【19 人】	
	文化系【１種目】	ブラスバンド　【18 人】	

	種目計【３種目】	参加人数計【101 人/117 人中　86%】	活動日数
新栄小 5,6 年	運動系【２種目】	サッカー　【44 人】	週３、４日（平日）
		バスケットボール　【34 人】	
	文化系【１種目】	ブラスバンド　【23 人】	

	種目計【３種目】	参加人数計【68 人/98 人中　69%】	活動日数
志水小 5,6 年	運動系【２種目】	サッカー　【17 人】	週２日（平日）
		バスケットボール　【26 人】	
	文化系【１種目】	ブラスバンド　【25 人】	

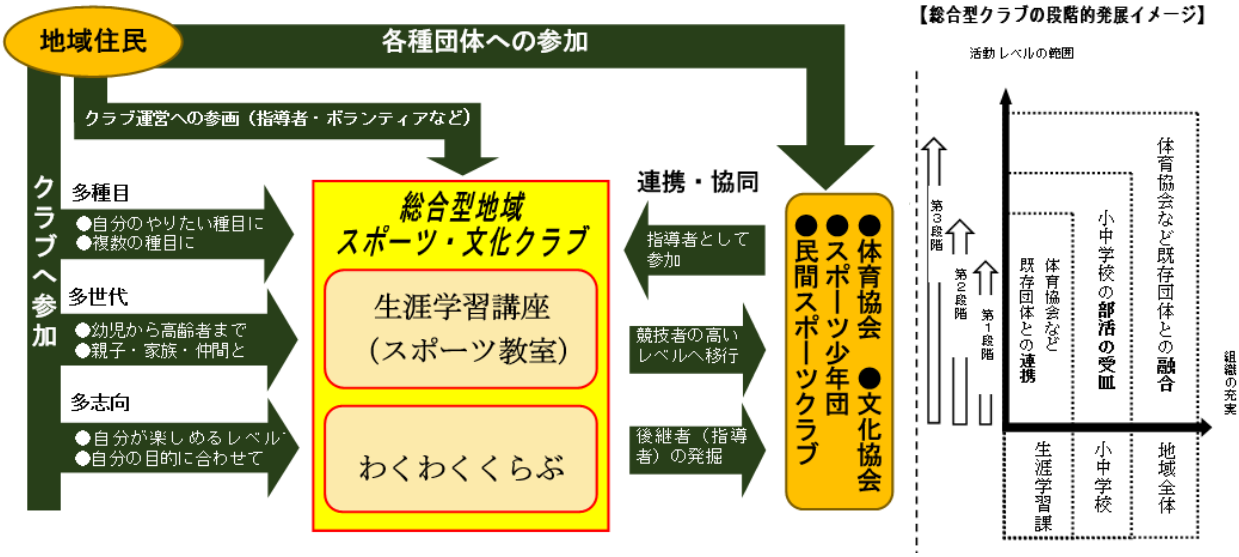
5　総合型地域スポーツ・文化クラブ

豊山町の総合型地域スポーツ・文化クラブは、小さな子どもから高齢者まで、いろいろなスポーツや文化活動を愛好する人々が、それぞれの志向やレベルに合わせて、参加できるクラブである。

プログラムには主に一般の方が参加する「生涯学習講座（スポーツ教室）」と主に小学生が参加する「わくわくくらぶ」がある。

「部活動の受け皿」としての役割は、総合型地域スポーツ・文化クラブの設置目的の一つであることから、部活動の地域移行に対応していく新規プログラムを整備していく必要がある。

新規プログラムの整備にあたっては、指導者や活動場所、実施種目等の課題を検討する必要があるため、生涯学習課の他、学校教育課、小中学校、地域住民の方が一体となって取組む必要がある。



■令和４年度プログラム（全 26 プログラム）

生涯学習講座（11 プログラム）

No.	プログラム	対象
1	幼児体操教室①	2・3 歳児と親
2	幼児体操教室②	4・5 歳児
3	児童体操教室	小学 1～3 年生
4	ノルディックウォーク教室	中学生以上
5	ミニテニス教室	中学生以上
6	子ども運動体操教室	小学生
7	長距離走教室	小学生以上
8	ミニソフトバレーボール教室	小学生と親
9	ニュースポーツ教室	小学校以上
10	ユニバーサルスポーツ教室	小学生以上
11	スラックライン体験教室	小学生以上

わくわくくらぶ（15 プログラム）

No.	プログラム	No.	プログラム	対象
12	陶芸	20	将棋	小学生以上
13	昔のあそび	21	銭太鼓	
14	茶道	22	ソフトボール	
15	バウンドテニス	23	太鼓	
16	チュックボール	24	ソフトテニス	
17	ミニソフトバレー	25	フラダンス	
18	あみもの	26	アレンジフラワー	
19	三味線			

６　課題

（１）受け皿の整備

①総合型地域スポーツ・文化クラブの他、受け皿となる地域団体として体育協会やスポーツ少年団の活用、また、民間委託等も含め検討が必要

②休日部活動における部員間のトラブル等については、学校と地域団体のどちらが責任をもって対応するのか整理が必要

③生徒の食物・運動誘発アレルギー等の基礎疾患の情報、緊急時の保護者の連絡先などについて、学校が保有する個人情報を地域団体が取得することが可能か、整理が必要

（２）指導者の質・量の確保

①中学生の発達段階に対応した技術力・生徒指導力を有する外部人材の確保

②生徒の多様なスポーツ・文化活動を実施するための指導者の確保

（３）予算の確保

①外部人材の人件費や休日部活動の運営に要する管理費等の予算確保

②受益者負担は、平日の部活動は公費負担となる一方、休日部活動に移行した部のみが受益者負担が生じることなど、不公平感や経済的に困窮する生徒への支援などの対応

（４）施設の確保

①学校施設を活用する場合、施設管理者の設定、活動場所の日程調整や施設のセキュリティ対策など

②社会教育センターなど学校施設外を活用する場合、児童生徒の安全な移動方法の確保

③地域住民の休日における学校施設の利用のニーズは高いため、休日の部活動の学校施設の優先利用の調整が必要

（５）大会の在り方

①休日部活動に教員が従事しなくなれば、これまで教員が培ってきた知識・経験を生かした地方大会の運営自体が困難となり、全国大会等への選抜ができなくなる恐れ

（６）保険の在り方

①事故やケガが発生した場合、事故等の対応も含めた指導者数の確保や安全管理体制の構築が課題

（７）関連諸制度等の在り方

①部活動の成績が高校入試の合否判定の資料となる調査書に記載されるなど、学校の外での活動を含めた評価のあり方を検討

（８）学校生活の希薄化

①部活動は学校指導の延長線上であるため、教員と生徒との希薄化の恐れ

【議題（２）】令和５年度の総合型地域スポーツ・文化クラブの企画・運営について

１　趣旨

豊山町総合型地域スポーツ・文化クラブ規約第９条にて、生涯学習推進審議会に企画・運営方法について諮ることとされている。ついては、今回、来年度の総合型地域スポーツ・文化クラブのプログラム等について提案する。

２　令和４年度プログラムの検証

No.		プログラム	定員	申込数			対象	検証結果
				Ｒ４	Ｒ３	Ｒ２		
1	生涯学習講座	幼児体操教室①	25組	4組	12組	4組	2・3歳児と親	R4申込数は少ないがR3に一定の申込数があるため継続
2		幼児体操教室②	30人	11人	—	—	4・5歳児	一定の申込数があるため継続
3		児童体操教室	30人	11人	16人	中止	小学1～3年生	一定の申込数があるため継続
4		ノルディックウォーク教室	15人	15人	15人	20人	中学生以上	申込多数のため継続
5		ミニテニス教室	30人	11人	中止	中止	小学生以上	一定の申込数があるため継続
6		子ども運動体操教室	50人	12人	中止	中止	小学生	一定の申込数があるため継続
7		長距離走教室	30人	23人	24人	34人	小学生以上	申込多数のため継続
8		ミニソフトバレーボール教室	50人	募集中	中止	中止	小学生と親	過去２年間中止となっているため検証不能→継続
9		ニュースポーツ教室	50人	募集中	23人	中止	小学校以上	R3に一定の申込数があるため継続
10		ユニバーサルスポーツ教室	50人	募集中	—	—	小学生以上	R4新設種目のため継続
11		スラックライン体験教室	15人	募集中	15人	—	小学生以上	R3に申込多数のため継続
12	わくわくくらぶ	バウンドテニス	20人	17人	24人	18人	小学生以上	申込多数のため継続
13		チュックボール	20人	12人	16人	7人		一定の申込数があるため継続
14		ミニソフトバレー	30人	27人	34人	21人		申込多数のため継続
15		陶芸	12人	12人	11人	10人		申込多数のため継続
16		昔のあそび	15人	15人	18人	17人		申込多数のため継続
17		茶道	10人	11人	12人	16人		申込多数のため継続
18		銭太鼓	15人	9人	8人	5人		一定の申込数があるため継続
19		あみもの	20人	7人	9人	6人		一定の申込数があるため継続
20		三味線	10人	4人	5人	5人		一定の申込数があるため継続
21		将棋	20人	7人	12人	9人		一定の申込数があるため継続
22		太鼓	15人	13人	22人	18人		申込多数のため継続
23		ソフトボール	30人	7人	9人	12人		R2に一定の申込数がある継続
24		ソフトテニス	14人	16人	16人	12人		申込多数のため継続
25		フラダンス	15人	2人	0人	—		R3新規種目のため継続
26		アレンジフラワー	16人	10人	—	—		一定の申込数があるため継続

３　令和５年度の方針（案）

令和４年度に実施した２６プログラムを検証した結果、**引き続き全２６プログラムを継続して実施**する。

また、「わくわくくらぶ」に、小学校部活動「ブラスバンド」に代わる**新たなプログラム「（仮）吹奏楽」を追加**できないか検討する。

No.		プログラム	定員	対象
1	生涯学習講座（11 種目）	幼児体操教室①	25 組	2・3 歳児と親
2		幼児体操教室②	30 人	4・5 歳児
3		児童体操教室	30 人	小学 1～3 年生
4		ノルディックウォーク教室	15 人	中学生以上
5		ミニテニス教室	30 人	小学生以上
6		子ども運動体操教室	50 人	小学生
7		長距離走教室	30 人	小学生以上
8		ミニソフトバレーボール教室	50 人	小学生と親
9		ニュースポーツ教室	50 人	小学校以上
10		ユニバーサルスポーツ教室	50 人	小学生以上
11		スラックライン体験教室	15 人	小学生以上
12	わくわくくらぶ（15or16 種目）	バウンドテニス	20 人	小学生以上
13		チュックボール	20 人	
14		ミニソフトバレー	30 人	
15		陶芸	12 人	
16		昔のあそび	15 人	
17		茶道	10 人	
18		銭太鼓	15 人	
19		あみもの	20 人	
20		三味線	10 人	
21		将棋	20 人	
22		太鼓	15 人	
23		ソフトボール	30 人	
24		ソフトテニス	14 人	
25		フラダンス	15 人	
26		アレンジフラワー	16 人	
27		吹奏楽？	？人	

【議題（３）】令和３年度豊山町生涯学習のまちづくり実施計画の報告について

基本目標１　生涯学習活動の推進

１　学ぶ機会の充実

No.	事業名	事業概要	新規継続	令和３年度　結果
1	学習ニーズに対応した学習プログラムの提供事業	町全体での生涯学習活動の推進を図るため、生涯学習推進審議会を設置し、運営の支援を行う。	継続	生涯学習推進審議会を３回開催し、豊山スカイプールの在り方などについて提案し意見を求めた。
		生涯学習活動に関する情報を提供するため、生涯学習情報誌「生きがいタウン」を年２回（４月、９月）発行する。	継続	４月、９月に「生きがいタウン（前期・後期）」を発行し、公共施設、町内スーパー等に設置・配布した。
2	生涯学習関係団体・機関との連携による講座の開設事業	町民の自発的な学習意欲を高めるために、子どもから高齢者までライフステージにあった生涯学習講座を開催する。	継続	新型コロナ感染対策をしつつ予定通り前期９講座、後期７講座の計 16 講座を開催することができた。
3	生涯学習ボランティアの養成事業	生涯学習ボランティアバンクの利用促進などにより、学習した知識や技術を地域活動参画や社会貢献に活かせるよう学びの循環作りを行う。	継続	ボランティアバンクは、対象者が「ふれあいひろば」では、毎週土曜日に活用され成果も高い。一般利用について利用促進のため広報への掲載などを行い、活用について周知に努める。

２　社会教育施設の整備・充実

No.	事業名	事業概要	新規継続	令和３年度　結果
1	社会教育センターの長寿命化計画に基づく改修事業	社会教育センターとしての機能を維持していくにあたり、維持管理の容易性向上や利用者の満足度向上などを達成するため改修工事を行う。	**拡充**	社会教育センター長寿命化計画に基づき、トイレ、ホール、階段手摺のバリアフリー化等の改修工事を行った。
2	社会教育センター管理一般事業	社会教育センターの運営にかかる一般管理事務を行う。	継続	新型コロナのため、国や県のガイドラインに沿った対応を徹底し、事業を継続した。
3	図書室整備運営事業	町民の読書への関心と書物への興味を深めるため、読書サークルやボランティア団体によるおはなし会、親子読書会などの事業を推進する。	継続	８月に幼児遊戯室のリニューアルを行い、親子で気軽に絵本に触れ合うことのできる空間を作った。
		町民の読書意欲の増進と自己教育の実現を図るため、図書資料の収集、整理及び貸出し等を行う。	継続	毎月１００冊前後の新着資料を購入し、適切に図書室運営を行っている。
4	学習等供用施設維持管理事業	各学習等供用施設（東部、冨士、新栄）の運営管理を、一括して地方自治法第２４４条の２第３項に基づく指定管理者制度により行う。	継続	利用制限を設けるなど新型コロナのための対策を講じながら貸館業務を実施した。

基本目標２　家庭教育支援の充実

１　家庭の教育力向上の支援

No.	事業名	事業概要	新規 継続	令和３年度　結果
1	家族ふれあい事業	乳幼児学級、子ども体験講座、家族ふれあいコンサート、家族芸術劇場等のイベントを行い、家族でふれあう機会を設けるとともに、子育て、家庭教育の充実を図る。	継続	家族芸術劇場など、新型コロナ感染拡大防止のための対策を講じながら開催した。乳幼児学級は、子育てに役立つ講演会を行った。家族ふれあいコンサートは、お子さんと保護者が一緒になって楽しめるミニコンサートを提供した。
2	家庭教育講演会事業	家庭教育の重要性の普及、啓発を図るため、小中学校の児童・生徒を持つ保護者を対象に、家庭・地域での教育力向上を啓発し、その実践を促進する講演会、相談事業を開催する。	継続	愛知医科大学教授・三鴨廣繁氏による、新型コロナ感染症（特徴、感染の仕組み、ワクチン接種のメリット、デメリット等）をテーマとした講演会を１０月６日に開催した。

２　地域の教育力向上への支援

No.	事業名	事業概要	新規 継続	令和３年度　結果
1	放課後子ども教室事業	放課後の子どもの居場所づくりの一環として、小学校の１年生から３年生を対象に実施する。また、令和３年度より、新栄小学校、志水小学校においても開設している。	継続	長年課題であった新栄・志水小学校の放課後子ども教室を新たに開設した。
		放課後児童クラブなかよし会と放課後子ども教室の効果的・効率的な運用による、放課後児童の居場所づくりの推進を図るため調査・研究を行う。	継続	志水学区において両事業の共通プログラムを１１月１５日に実施した。また、１２月１日に放課後子どもプラン運営委員会を開催し、両事業の今後の在り方について提案した。

３　子どもの豊かな心を育む学習支援

No.	事業名	事業概要	新規 継続	令和３年度　結果
1	青少年育成団体活動費助成事業	青少年健全育成に寄与する団体に対し、活動費等の補助を行う。	継続	子ども会とスポーツ少年団に補助金を交付した。新型コロナのため各団体の開催行事は減少した。
2	青少年生活指導事業	教育、福祉、防犯等、各関係団体の連携協力のもと、豊山町青少年育成会議を設置し、その参加団体による町内巡回パトロールを行うとともに、小中学校の生徒指導推進事業を支援する。	継続	青少年育成会議を書面審議により開催した。また、合同街頭指導４回、巡回指導を８回実施した。小中学校の生徒から標語の募集を行い、そのうちの代表作品を巡回指導時の啓発メッセージに活用することにより啓発の効果を高めた。

基本目標３　芸術・文化の充実

１　芸術･文化活動の推進

No.	事業名	事業概要	新規 継続	令和３年度　結果
1	文化振興事業、お昼のときめきコンサートの充実事業	コンサート、落語、演劇などの優れた文化・芸術にふれる機会を提供するため、文化振興事業を行う。	継続	「とよやま寄席東西落語会」を２月２０日に実施した。 新型コロナ感染予防対策として、申込方法を往復はがきとし、定員を設け、間隔を空けた指定席とした。
		気軽に音楽芸術にふれる機会を提供するため、クラシックを中心にしたミニコンサートを行う。	継続	観客間の距離を空ける、定員を設ける等の新型コロナ対策を講じて６月、１２月、３月に開催した。昨年度も人気であったジャズコンサートなど工夫を凝らしながら、町民が気軽に文化・芸術をふれることができる貴重な機会を提供することができた。
2	芸術・文化団体への支援事業	文化振興に寄与する団体、文化活動団体に対し補助を行う。	継続	令和３年８月に地域の活性化や世代間交流などを目的に活動する「豊山ウインドオーケストラ」が新たに誕生した。

２　文化財・郷土資料の保存・活用

No.	事業名	事業概要	新規 継続	令和３年度　結果
1	文化財の保存・ 活用事業	教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議を求めるため文化財保護審議会を開催する。	継続	文化財保護審議会は新型コロナ感染防止の観点から書面開催とし、令和３年度、４年度の文化財保護に関する取組や町指定文化財の「楠」及び「いちい樫」の現状について委員に意見を求めた。
		町指定文化財の適切な保存管理を図る所有者・継承団体や文化財に対する理解、愛護思想、郷土愛の育成を図るための活動団体に対し奨励交付金及び補助金を交付する。	継続	県指定２件（有形２件）、町指定８件（有形３件、記念物２件、無形３件）に対し文化財管理奨励交付金を支給した。また、火災や盗難に関する呼びかけを行い、文化財の保存・保護に努めた。
2	郷土資料室の再生事業	民具等の郷土資料を収集するほか、郷土資料室の整理等を行う。	継続	資料の把握、郷土資料室の現況調査を行った。また、文化財友の会の協力による「虫干し」を１０月に実施した。
		町制施行５０周年を契機に、豊山町の歴史、民俗などにおけるこれまでの資料を活かしながら、新たに発見した町の歴史や特徴を活かした展示内容にリニューアルを目指す。	**拡充**	町制施行 50 周年を契機に、「体感。昭和レトロ」をテーマにして、令和４年３月に郷土資料室をリニューアルオープンした。また、企画展は「なつかしの子ども時代展」、「戦争の記憶展」を開催した。
3	豊山町史編纂事業	令和４年の町制施行５０周年に向けて町史の編さんを行う。令和４年３月に刊行予定。	継続	平成 30 年度から町の行政史をはじめとした豊山町史の編さんを行っていたが、令和３年度末に「豊山町誌　町制施行 50 年のあゆみ」を刊行することができた。

基本目標４　スポーツの充実

１　スポーツに関わる機会の創出

No.	事業名	事業概要	新規 継続	令和３年度　結果
1	指導者の育成支援事業	社会体育・スポーツ振興のため、スポーツ推進委員の設置、活動支援を行う。また、多世代参加の生涯スポーツの普及促進、町民が主体となるスポーツ振興活動を支援する。	継続	スポーツ推進委員定例会を毎月初旬に開催し、生涯スポーツ等について意見を交わした。
2	総合型地域スポーツ・文化クラブ運営事業	「いつでも、どこでも、だれでも」スポーツ・文化に親しみ、楽しみ、支える活動に参画できる環境づくりを目的とした 豊山町版の「総合型地域スポーツ・文化クラブ」を令和３年４月より設置する。	**新規**	「総合型地域スポーツ・文化クラブ」を令和３年４月より開設した。新型コロナに伴い一部のプログラムを除きスポーツ教室やふれあいひろば（現わくわくくらぶ）を開催した。

２　スポーツによる町のにぎわいづくり

No.	事業名	事業概要	新規 継続	令和３年度　結果
1	スポーツ大会の開催事業	実行委員会によって行われるミニ・マラソン大会及び町民体育大会の補助を行う。	継続	町民体育大会は新型コロナにより中止した。
2	愛知駅伝への参加・支援事業	愛・地球博記念愛知県市町村対抗駅伝競走大会に豊山町代表選手を編成して出場する。	継続	記録会を７月４日、１８日に開催したが、その後、新型コロナにより大会中止が決定された。
3	体育協会補助金事業	体力向上と健全な体育振興を図り、健康なまちづくりに寄与する体育協会の補助を行う。	継続	体育協会に補助金を交付した。
4	少年野球教室事業	人材育成のため、小中学生を対象とした野球教室を開催する。	継続	新型コロナにより中止した。

３　スポーツ施設・環境整備の推進

No.	事業名	事業概要	新規 継続	令和３年度　結果
1	豊山グランド維持管理事業	豊山グランドの維持管理を行う。	継続	新型コロナのため、国や県のガイドラインに沿った対応を徹底し、事業を継続した。
2	豊山スカイプール維持管理事業	豊山スカイプールの運営、施設設備維持管理を、一括して地方自治法第２４４条の２第３項に基づく指定管理者制度により行う。	継続	新型コロナのため、令和２年度に引き続き休場とした。
3	スポーツ施設維持管理事業	各スポーツ施設等（志水テニスコート、東部・青山ゲートボール場、伊勢山スポーツ広場、志水ふれあい広場）の維持管理を行う。	継続	新型コロナのための対策を講じながら貸館業務を実施した。

【議題（４）】令和４年度豊山町生涯学習のまちづくり実施計画の進捗状況について

１　令和４年度実施計画方針

「豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画（第３期）」の施策の体系に基づいて様々な生涯学習実施計画関連事業を実施し、町民に多様な学習機会を提供する。

また、令和４年度に町制施行５０周年を迎えることから、引き続き、記念事業の方針に沿った事業内容とする。

未だ収束が見えない新型コロナウイルスの感染状況の影響により、町民の行動が制約され続けている。健康面への影響や生活様式の変化等に対し、生涯学習（社会教育、家庭教育、学校教育）の観点から果たすべき役割を認識し、また、ＷＩＴＨコロナ、ＡＦＴＥＲコロナを見据え各種事業を推進する。

２　第３期計画の施策の体系

第３期計画のテーマ
「いつでも」「どこでも」「だれでも」学べる 人が輝く生きがいタウン

基本目標	施策	R4 年度事業数
１　生涯学習活動の推進	１　学ぶ機会の充実	３
	２　社会教育施設の整備・充実	５
２　家庭教育支援の充実	１　家庭の教育力向上の支援	２
	２　地域の教育力向上への支援	１
	３　子どもの豊かな心を育む学習支援	２
３　芸術・文化の充実	１　芸術･文化活動の推進	２
	２　文化財・郷土資料の保存・活用	２
４　スポーツの充実	１　スポーツに関わる機会の創出	２
	２　スポーツによる町のにぎわいづくり	４
	３　スポーツ施設・環境整備の推進	３
５　その他		５

３　実施計画

基本目標１　生涯学習活動の推進

１　学ぶ機会の充実

No.	事業名	事業概要	事業区分	令和４年度　進捗状況
1	学習ニーズに対応した学習プログラムの提供事業	町全体での生涯学習活動の推進を図るため、生涯学習推進審議会を設置し、運営の支援を行う。	継続	８月３１日に第１回生涯学習推進審議会を開催。
		生涯学習活動に関する情報を提供するため、生涯学習情報誌「生きがいタウン」を年２回（４月、９月）発行する。	継続	４月に「生きがいタウン（前期）」を発行し、公共施設、町内スーパー等に設置・配布した。「生きがいタウン（後期）」は９月に発行する。
2	生涯学習関係団体・機関との連携による講座の開設事業	町民の自発的な学習意欲を高めるために、子どもから高齢者までライフステージにあった生涯学習講座を開催する。	継続	「苔玉づくり」や「ＬＩＮＥ講座」など住民ニーズに合わせた講座を開催している。
3	生涯学習ボランティアの養成事業	生涯学習ボランティアバンクの利用促進などにより、学習した知識や技術を地域活動参画や社会貢献に活かせるよう学びの循環作りを行う。	継続	「生きがいタウン」にボランティアバンクを掲載

２　社会教育施設の整備・充実

No.	事業名	事業概要	事業区分	令和４年度　進捗状況
1	社会教育センター管理一般事業	社会教育センターの運営にかかる一般管理事務を行う。	継続	新型コロナ対策のため、利用制限を設けながら貸館業務を実施している。
2	図書室整備運営事業	町民の読書への関心と書物への興味を深めるため、読書サークルやボランティア団体によるおはなし会、親子読書会などの事業を推進する。	継続	読み聞かせボランティアグループによる「おはなし会」を毎月開催している。
		町民の読書意欲の増進と自己教育の実現を図るため、図書資料の収集、整理及び貸出し等を行う。	継続	毎月 100 冊前後の新着資料を購入し、適切に図書室運営を行っている。
3	学習等供用施設維持管理事業	各学習等供用施設（東部、冨士、新栄）の運営管理を、一括して地方自治法第２４４条の２第３項に基づく指定管理者制度により行う。	継続	新型コロナのため、利用制限を設けながら貸館業務を実施している。
4	施設予約システムの整備事業	施設予約システムの運用を行う。	継続	利用状況確認、利用の仮予約を実施している。本年 10 月より６か月前の利用についてオンライン抽選制度の導入を行う。
5	新型コロナウイルス感染症対策事業	新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため、消毒用洗剤の購入等を行う。	継続	新型コロナのための必要な物品の購入し対策を務めるとともに、施設の換気の徹底、利用者への協力依頼を求めている。

基本目標２　家庭教育支援の充実

１　家庭の教育力向上の支援

No.	事業名	事業概要	事業区分	令和４年度　進捗状況
1	家族ふれあい事業	乳幼児学級、子ども体験講座、家族ふれあいコンサート、家族芸術劇場等のイベントを行い、家族でふれあう機会を設けるとともに、子育て、家庭教育の充実を図る。	継続	５月にお子さんと保護者が一緒に楽しめる「ぴよぴよコンサート」、６月に本格的な児童劇「家族芸術劇場」、７月に子育てに役立つ講演会「乳幼児学級」を開催した。引き続き各種講座等を開催予定。
2	家庭教育講演会事業	家庭教育の重要性の普及、啓発を図るため、小中学校の児童・生徒を持つ保護者を対象に、家庭・地域での教育力向上を啓発し、その実践を促進する講演会、相談事業を開催する。	継続	令和５年１月中旬～２月上旬頃に開催予定。今回はスマホの適正な利用方法や家庭でのルール作りをテーマに講演を予定している。

２　地域の教育力向上への支援

No.	事業名	事業概要	事業区分	令和４年度　進捗状況
1	総合型地域スポーツ・文化クラブ事業（わくわくくらぶ）	子どもたちと保護者や家族・地域の大人たちが参加できる多世代参加型事業。ボランティアによる指導者のもと多様な文化・スポーツ教室を提供する。令和４年度より事業名称を「ふれあいひろば」から「わくわくくらぶ」に改称する。	継続 **名称変更**	今年度から「アレンジフラワー」を新たに追加し、土曜日の子どもの居場所作りの拡充を図っている。

３　子どもの豊かな心を育む学習支援

No.	事業名	事業概要	事業区分	令和４年度　進捗状況
1	青少年育成団体活動費助成事業	青少年健全育成に寄与する団体に対し、活動費等の補助を行う。	継続	スポーツ少年団に補助金を交付した。
2	青少年生活指導事業	教育、福祉、防犯等、各関係団体の連携協力のもと、豊山町青少年育成会議を設置し、その参加団体による町内巡回パトロールを行うとともに、小中学校の生徒指導推進事業を支援する。	継続	第１回青少年育成会議を７月４日に開催し、巡回指導、合同街頭指導を７月１５日から実施している。 今年度は成年年齢引下げにより若者から消費者被害を防ぐための啓発チラシを作成し、配布した。

基本目標３　芸術・文化の充実

１　芸術･文化活動の推進

No.	事業名	事業概要	事業区分	令和４年度　進捗状況
1	文化振興事業、お昼のときめきコンサートの充実事業	町制施行５０周年記念事業に併せて町民参加型の音楽会を開催する。プロの演奏により本物の音楽に触れるとともに、町民も一緒に演奏できる機会を設定する。	**拡充**	来年２月の開催に向け、準備している。
		気軽に音楽芸術にふれる機会を提供するため、クラシックを中心にしたミニコンサートを行う。	継続	観客間の距離を空ける等の新型コロナ対策を講じて５月と８月に開催した。８月は人気が高いジャズライブを開催した。
2	芸術・文化団体への支援事業	文化振興に寄与する団体、文化活動団体に対し補助を行う。	継続	文化協会、小中学校ＰＴＡに補助金を交付した。

２　文化財・郷土資料の保存・活用

No.	事業名	事業概要	事業区分	令和４年度　進捗状況
1	文化財の保存・活用事業	教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議を求めるため文化財保護審議会を開催する。	継続	文化財保護審議会を年度末に開催予定。
		町指定文化財の適切な保存管理を図る所有者・継承団体や文化財に対する理解、愛護思想、郷土愛の育成を図るための活動団体に対し奨励交付金及び補助金を交付する。	継続	年度末に町内指定文化財に対し、奨励交付金を交付する。
2	郷土資料室の再生事業	３月にリニューアルオープンする郷土資料室にて、町制５０周年記念事業として、昔と現在の街並みを比較した写真パネル展などの企画展を開催する。	**拡充**	４月に町制 50 周年を記念し特別企画展「豊山今昔写真展」を開催した。また、８月は毎年開催している「戦争と平和展」を企画し、戦争の悲惨さと平和への願いを訴えた。

基本目標４　スポーツの充実

１　スポーツに関わる機会の創出

No.	事業名	事業概要	事業区分	令和４年度　進捗状況
1	指導者の育成支援事業	社会体育・スポーツ振興のため、スポーツ推進委員の設置、活動支援を行う。また、多世代参加の生涯スポーツの普及促進、町民が主体となるスポーツ振興活動を支援する。	継続	スポーツ推進委員定例会を毎月初旬に開催し、生涯スポーツ等について意見を交わした。
2	総合型地域スポーツ・文化クラブ運営事業	小さな子どもからお年寄りまで、初心者からトップレベルの方までなど様々な人たちが参加できる「多種目・ 多世代・ 多志向」の文化・スポーツ教室を提供する。	継続	前期は幼児体操教室（４・５歳児向け）を新たに追加し事業を実施している。 後期はさらにユニバーサルスポーツ教室を追加し、今年度は全 26 プログラムを実施する。

２　スポーツによる町のにぎわいづくり

No.	事業名	事業概要	事業区分	令和４年度　進捗状況
1	スポーツ大会の開催事業	実行委員会によって行われるミニ・マラソン大会及び町民体育大会の補助を行う。	継続	町民体育大会は新型コロナにより中止した。
2	愛知駅伝への参加・支援事業	愛・地球博記念愛知県市町村対抗駅伝競走大会（1/14）に豊山町代表選手を編成して出場する。	継続	選手選考記録会を９月１０日、１０月１０日に開催予定。
3	体育協会補助金事業	体力向上と健全な体育振興を図り、健康なまちづくりに寄与する体育協会の補助を行う。	継続	体育協会に補助金を交付した。
4	少年野球教室事業	人材育成のため、小中学生を対象とした野球教室を開催する。	継続	１２月４日に開催予定。

３　スポーツ施設・環境整備の推進

No.	事業名	事業概要	事業区分	令和４年度　進捗状況
1	豊山グランド維持管理事業	豊山グランドの維持管理を行う。	継続	新型コロナ対策のため、利用制限を設けながら貸館業務を実施している。
2	豊山スカイプール維持管理事業	豊山スカイプールの運営、施設設備維持管理を、一括して地方自治法第２４４条の２第３項に基づく指定管理者制度により行う。	継続	新型コロナ及び熱中症対策を行いながら７月２日より開場している。
3	スポーツ施設維持管理事業	各スポーツ施設等（志水テニスコート、東部・青山ゲートボール場、伊勢山スポーツ広場、志水ふれあい広場）の維持管理を行う。	継続	新型コロナ対策のため、利用制限を設けながら貸館業務を実施している。

【報告（１）】令和４年度社会教育委員研修会について

月日	行事名	会場
５月１８日（月）	愛知県社会教育委員連絡協議会東尾張支部総会・講演会	オンラインで実施
５月２８日（金）	愛知県公民館連合会東尾張支部総会	書面開催
６月　１日（水）	愛知県公民館連合会総会	へきしんギャラクシープラザ
６月　３日（金）	愛知県社会教育委員連絡協議会総会・評議員会	へきしんギャラクシープラザ
１０月１３日（木） １４日（金）	第５３回東海北陸社会教育研究大会愛知大会 〇社会教育委員７人 ※会場参加とオンライン参加のハイブリット形式で開催予定。 宣言等が発令された場合は、オンライン開催	東海市芸術劇場
２月　２日（水）	愛知県公民館連合会東尾張支部研究発表会	書面開催